

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukusiteru? TIMES'16

第6号

平成28年8月3日発行

発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620



7月20日
水曜夜コース
受講生16名
参加者10名

【事務局アソビ】
オモテ面の文中にキーワードを隠しました。それを見つけ出し、事務局まで知らせれば、正解者には宝を進呈！今回はヒントなしです。

第5回

公開講座

区民主体のヘルスプロモーションとは？～健康を促す実践者と共に考えよう～

▼ 区内の実践者に聞く「これからの健康」で大切・必要なこと

本日の流れ



菊地さんからは、運営する「阿佐ヶ谷きずなサロン」のお話をいただいた。きずなサロンはつながりづくりのきっかけの場、地域の誰でも出入り自由な場で、お茶を飲んだりおしゃべりすることを基本に、歌を歌ったり、色んな人が特技を披露する機会も設けている。地域の人が集まり、楽しい時間を過ごす結果として健康につながっていくのはまさにアソビノベーション！！

菊地 利子 氏 <グループ ハート to Heart 代表 >



阿真さんからは、ご自身の経験から始めた活動のお話をいただいた。子供が病気や困難に直面したときに必要な情報をネット上で提供したり、自治体向けのマニュアルを作成したりと、多くのメディアもその活動を取上げている。患者が必要な診断を受けるポイントは「観察」「記録」「伝達」というお話や、「小児医療を知ることが高齢化社会の礎を築く」というお話、「クレームではなく意見を、批判ではなく提案を」と、親・医療者・行政それぞれの立場を尊重して納得できる道を探ろうというお話をしてくれた。

阿真 京子 氏 <社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表>



田中さんは日本では珍しい「家庭医」という視点から、地域コミュニティと医療に関わるお話をいただいた。現在の地域医療や健康の課題として「対話が少ない」「健康に関するリテラシーがまだ高くない」ことがあるため、地域と一緒に医療・健康について考える場や活動が必要！という思いのもと、医療関係者に限らず様々な業種や世代の人が健康について語る場をつくらせたり、地域でも講演会を開いている、というお話をいただいた。

田中 公孝 氏 <家庭医、東京西部保健生活協同組合>

- ・アソビノベーション説明
- ・各ゲスト講師のお話
 - ・パネルトーク
 - ・グループトーク
 - ・感想共有
- ・次回に向けて

感想集

- ・それぞれ特化した分野で活躍されていることが分かりやすく、簡明にお話いただき感謝し、ためになりました。
- ・オープンで地域貢献度の高い活動団体だと感じました。地域に根差した暖かいコミュニティで、ああ、この地に住んで良かったと思う人が増え、居心地の良い居住地区になれば多くの人が HAPPY になれると思います。
- ・3人の方の行動力が印象的でした。人を集める力がすごいなあ。
- ・杉並区に住んで勤めて40年近くいましたが、本当に知らないことが多い。
- ・「健康」と「遊び」とちよつとつながりが？でしたが、少しわかったような気がします。

▼ 気になったことをより深く話し合う！そして次回講座は？

3人のゲスト講師の方のお話の後には、広石さん・高橋さんを交えてのパネルトークに進んだ。それぞれの方ともしっかりと話せる機会を！ということで、その後は3つのグループに分かれてのグループトークを2セット行った。「地域医療」や「場」、「相談先」などなど話が深まったようだ。次回はいよいよ外に出る「アソビ」の段階へ入る。新たな視点で街を見る契機となれば！（文：瀬山）



土曜昼コース
7月23日

だがしや楽校入門編 ～気軽な“みせ開き”でまちに出よう～

第5回 蚕糸の森みせ開きの準備をしよう②

本日の日直コーナー

今回の日直は科学あそびのエキスパート、原田さん。
だがしや楽校夏祭りで見せ出し予定の超能力振り子作りに
皆でチャレンジ！作り方は簡単、異なる長さの振り子を二、
三種類作り、割り箸に引っかけてぶら下げるだけ。長さの
比率が違うので、振り子すべてが同時に振れることは
なく、自分の揺らしたい振り子だけ動かせる…はずな
のだが、これがなかなか難しい。一つの振り子にだけ意識を集中して揺らすのが難
しく、なんとか思い通りに揺らそうとする受講生の表情も真剣そのものだった。

振り子の紐や固定用にカラフルな紐やゴムを用意してくれた原田さん。見た目にも楽しく、頭も手先も使う原田さんの「自分みせ」は、今度のだがしや楽校でも
大活躍しそうだ。



動かすコツは念力！？

いよいよ次回は実践！

今回が、だがしや楽校開催に向けて最後の作戦会議と
なる。道具の準備などの具体的な作業や、机やイスなどの
必要な備品を出していった。

もうグループができて着々と作業を進めているところもあ
れば、一人でパフォーマンスの内容を練る人、互いの興
味・関心などについてじっくり話し込む人たちもいて、時間
の使い方は様々だ。

話し合いの結果、右のようなおみせが出揃った！なお、
今回はだがしや楽校の考案者・松田道雄先生のご紹介
で、山形県で豆の普及活動に取り組む置賜(おきたま)農
業高校の学生たちも参加する予定だ。

今回のだがしや楽校を通して、受講生同士はもちろんの
こと、卒業生や助っ人、ご近所の方、そして山形からのゲス
トと、様々なつながりが生まれるに違いない。(文:遠藤)

だがしや楽校夏祭り in蚕糸の森(杉十小)

☀おしながき☀

- 工作コーナー (金魚の折り紙、松ぼっくり、わりばし等を使った小物作りなど)
- トークボックス笑談中
- ポップな音楽会～迫水秀樹×出合ユキ～
- 超能力振り子づくり
- スカイプ from India
- 参加型朗読劇『絵姿女房』
- 布の魚つり
- 山形・豆料理ワークショップと食育活動(豆育)紹介



◆ 大人塾に参加中のオトナたちに聞く (①出身 ②座右の銘・好きな言葉 ③自分のつながり PR)

水 杉浦 和子(すぎさん)

- ① 新潟県魚沼市
- ② 「生きる力」「人間力」「やってみて、言って聞かせてやらせてみて、ほめてやらねば人は動かず」
- ③ 保育士をやっています。子供や若い人と話をするのが好き

土 早内 佳子

- ① 世田谷区
- ② 継続は力なり
- ③ 造形教室やっています。楽しい企画共有しましょう。

水 加藤 俊也

- ① 神戸
- ② のど元すぎれば何とでも
- ③ NPOの会系、資金募集、融資など、お金回りにマニアックな知識あり。

水 土 明日丘エル

- ① 宮城県仙台市
- ② 面白ろ可笑しく！
- ③ ナンデモやります、やれます、やらせて下さい！

今回の
熟練者